

各会派による 代表質問

目次

令和5年2月28日

令和5年 第1回甲賀市議会定例会代表質問 (通告順)

順番	会派名 氏名	質問事項
1	誠翔会 えびす わき ひろし 戎 脇 浩	1 誠翔会が中心課題と位置付ける、デジタル化と脱炭素の推進について 2 施政方針・新年度予算方針及び市長公約から、かける思いを聞く 3 誠翔会の政策・事業提案から、新年度の取り組みについて問う
2	公明党 きむら まさお 木村 眞雄	1 本市の子育て政策について 2 本市の教育振興策について 3 地域振興策および地域公共交通政策について 4 気候変動・災害対策について
3	凜風会 たなか あらと 田中新人 (関連質問) にしむら けい 西村 慧	1 令和5年度予算編成について 2 行政改革の取組みと持続可能な行政運営について 3 新型コロナウイルス対策について 4 子育て・教育について 5 人が輝く共創のまちづくりについて (甲賀市まち、ひと、しごと総合戦略) 6 GX (グリーンTRANSフォーメーション) の推進について 7 貴生川駅周辺整備について 8 地域公共交通について 9 農業・林業の振興について 10 災害に強いまちづくりについて 11 将来に向けたまちづくりについて
4	日本共産党甲賀市議員団 にしやま みのもる 西山 実	1 新型コロナ感染拡大、医療体制の抜本的な充実を 2 市民のいのちと暮らしを守る立場から国政の焦点と市長の政治姿勢について 3 岩永市政の評価と課題について 4 新年度予算について いのち暮らしを守る予算を

■答弁者の凡例

総合政策部長	総政部長	総合政策部理事	総政理事	こども政策部長	こ政部長
健康福祉部長	健福部長	市民環境部長	市環部長	産業経済部理事	産経理事
上下水道部長	水道部長				

代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



QRコードで質問の録画が見られます。

誠翔会

えびすわき ひろし
戒脇 浩



Q 施政方針、公約から、かける思いは

A ほとんどの事業に着手できている

Q 誠翔会が中心課題と考える行政のデジタル化は、地方にこそ利便性の向上に繋がると考えるが。

市長 「誰もがいつもの暮らしに『しあわせ』を感じるデジタル社会の実現」を基本理念に、市民ファーストの自治体DXを進める。

Q 政府に繋がる自民党派として、国の交付金獲得を後押ししてきた。今後の交付金活用方針は。

市長 これまで通り国の財源を利用し、課題解決に向かう。

Q 「誰一人取り残されない」デジタル化の施策が必要だと考えるが。

市長 誰もがデジタル化の恩恵により、豊かさが実感できる社会の実現が重要であり、情報格差の解消が重要であると認識している。

Q こども家庭庁の創設を受け、子ども関連予算を拡充すべきでは。

市長 多種多様な事業を集中させ、若者支援までの支援策を全力

で展開し、子どもや若者、その家族が将来への展望を期待できる環境を作る。

Q 区・自治会のあり方、自治振興会の見直しに、一定の方向性が定まった。今後見切り発車せず、市長自らが地域に向き、説明、意見交換を行うことが肝要であると考えるが。

市長 私自らが地域の皆様と膝をつきあわせ、一緒に考えることが重要であり、私自身の言葉で協力して地域づくりを進めることを説明し、ご理解いただけるよう努める。



「デジタル田園都市国家構想推進交付金」を活用した学校の電子黒板

公明党

きむら まさお
木村 眞雄



Q 子育て政策をどう推進していくか

A 包括的支援の一層の推進を図る

Q 「こども家庭庁」の創設にあたり、市政にどのように反映させるか。

市長 国の動きを追い風に、子育て支援事業に全力をあげ、切れ目のない包括的な支援を一層推進し、こどもが健やかに成長でき、子育てに幸せを感じられる環境づくりを進める。

Q こども条例の制定が必要と考えるが見解を問う。

市長 こども条例は、市民がこども政策に理解を示し、協力し、応援する羅針盤となることから、その制定に向け検討をする。

Q ヤングケアラーの対策について見解を問う。

市長 ヤングケアラーの早期発見、早期支援につながるよう啓発に努める。また、相談員を配置し、相談ダイヤルの設置を行い、悩みや困り事を聴く体制を整える。

Q 「こころか版ネウボラ」実施に向けての専門員の確保について。

市長 専門職の人材育成や確保は重要である。人員の配置見直しや事業の統合・精査により、保健センターへの配置の充実に努める。

Q 不登校児童生徒の対策について。

教育部長 社会的自立を支援する上で、多様な機関につながることは重要である。適応指導教室、フリースクール、学んでいコウカ、夢の学習など、ニーズに合った居場所づくりについて、きめ細かく対応できるよう努める。



子ども夢パーク (川崎市)



代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

凜風会

たなか あらと
田中 新人



Q 行政改革に対する5年度の姿勢は

A 国・県に依存しない財源を確保する

Q 行政改革に対する令和5年度の姿勢は。

市長 限られた行政資源を効果的に活用するための行政見直しを推進するほか、民間活力を生かした事業効果の高い市民サービスの実現に向け、公民連携の仕組みを構築する。

Q 公共施設等総合管理計画第1期行動計画の進捗と取り組みは。

市長 合併特例事業債の活用期限が迫る中、子どもの安全、安心を確実に確保するため、第1期行動計画に基づき水口保健センター、水口子育て支援センター、甲南統合認定こども園、水口児童クラブの整備を進める。

Q 貴生川駅周辺整備事業の今後の展開と具体的なイメージは。

市長 基本構想に示している交流拠点ゾーンに集積する都市機能については、駅直近のポテンシャル



整備予定の水口保健センター

Q 農地の規模拡大や中山間地における畦畔草刈りの負担軽減は。

市長 「中山間地域等直接支払制度」や「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業」を活用いただき、ラジコン草刈機の導入や防草シートの活用を進める。

を生かし、公共交通が行き交う交通結節点にふさわしい施設整備になるよう、公共機能の選定、民間施設の誘導を図るためのサウンディング調査を進めていく。



日本共産党

にしやま みのる
西山 実



Q 物価高騰対策の予算の拡充を

A 必要な支援を臨機応変に対応する

Q 令和5年度の税込増は4億3158万円、低所得者や子育て世代

などの生活支援、中小企業や個人事業主などへの支援強化の予算の充実を。物価高騰対策の予算の拡充を。

市長 給食材料費の物価高騰対策として小中学校で2千万円、保育園で1192万円、肥料価格高騰対策緊急支援事業補助2500万円など合計で6048万8千円の予算を計上している。

Q 新型コロナウイルス感染予防と対策の予算について、国が5類に引き下げれば、独自の施策が必要では。

市長 引き続き国、県の動向を注視するとともに、今後も市民の皆様が安心した生活を送れるよう必要な対策を講じる。

Q 異常気象のもと抜本的な防災・減災対策が必要。新年度予算への

反映は。

市長 消防団や常備消防の関連予算を確保するとともに、自主防災組織の強化、家庭での地震対策補助、情報のデジタル活用を推進する。

Q 甲賀市の人口は5年間で2367人減少した。課題は何か。子育てNo.1の甲賀市になっているか。

市長 転入者と転出者の差である社会動態は様々な人口減少対策を講じたことでゼロに近づいている。子育て世代への相談や支援体制の充実のため、寄り添い支援をはじめ、保育、教育、保健・福祉など、関係する施設や機関の連携を強化する。

